

農林水産振興ニュース

第28号

財団法人 広島市農林水産振興センター
Hiroshima City Agriculture, Forestry and Fisheries Promotion Center
〒739-1751 広島市安佐北区深川八丁目30番12号
TEL(082)845-4770 FAX(082)842-2149
http://www.hiroins-net.ne.jp/hiroagri/

◆個人情報に関する基本方針◆
皆様から提供していただいた個人情報は、当財団において適正な管理のもと、財団の活動の範囲内において保存、利用いたします。
なお、個人情報の第三者への提供については、法令に基づく場合、本人の同意があった場合、その他特別の理由のある場合を除き、提供された目的以外の用途に又は提供された目的を超えて第三者に提供いたしません。

魚と漁業の資料展示室 第二展示室 をリニューアルしました!



他にもたくさん展示しています



▲ぶっくりと育った一粒殻付きカキと担当者の島津さん

シングルシードを使った一粒殻付きカキがぶっくりと育ちました!
昨年7月から養殖試験をしているシングルシードを使った一粒殻付きカキ(一つづつばらばらになっているカキをカゴで養殖する方法)が小粒ながらぶっくりと育ちました。今からブランド化に向けてイベント等で試食会を行います。

水産振興センターにある「魚と漁業の資料展示室」は瀬戸内海特に広島湾や太田川に生息する魚介類、昔と今の漁業に関する資料を展示することにより、皆さんに水産業や水産生物資源に関して知っていただくとともに、自然環境の保全に対する理解を深めていただくことを目的に無料開放しています。
このたび、淡水魚の展示を行っている第2展示室の展示魚種を大幅に増やしました。普段なかなか見られない珍しい魚も展示していますので是非ご来場ください。

http://www.suisansc.or.jp/tenji_no2.html 普及指導課(☎277-6609)

マコガレイの放流効果を調査中

現在、栽培漁業課ではマコガレイの放流効果を調査中ですが、広島市海域での放流効果はかなり高いことが分かってきました。

昨年の4月から広島市中央卸売市場や漁業者を訪れてマコガレイの無眼側の黒化個体を調査しています。現在、広島市海域で漁獲された黒化個体の割合は32%(126/394尾)です。天然魚では黒化は極めて稀にしか出現しないため、この割合は非常に高い結果といえます。実際に、マコガレイの種苗放流を行っていない山口県などの海域で漁獲された魚を調査したところ15%(15/102尾)しかありませんでした。また、大阪府の研究報告では天然魚の黒化個体の割合はわずかに0.03%(1/377尾)とのことです。

これらことから、広島市海域で漁獲されたマコガレイの中に、水産振興センターの放流魚が多く含まれていることがわかってきました。今後継続して調査を続け、放流効果を確認していきます。

圃栽培漁業課 (☎277-6609)



▲マコガレイの黒化個体(広島市中央市場にて)

放流効果を把握するために漁獲されたマコガレイの調査をしています。本来、マコガレイの無眼側(眼の無い裏側)は白色ですが、無眼側の白い部分に黒い色素が現れること(写真)を黒化といいます。特にカレイやヒラメなどの異体類※を種苗生産すると黒化個体が生じやすくなります。この黒化の原因は様々な説がありますが、特に変態※直前の栄養状態に大きな影響を受けるといわれています。なお、黒化があっても稚魚の生育には支障が無く、市場でも正常魚と同じように扱われます。
※異体類とは…体の片側に両眼を有し、体の左右が大きく異なるものを総称して異体類(いたいのい)といいます。
※変態とは…海底生活に適応するため、体の片側に眼が移動し、体が平らになることをいいます。

かんたんレシピ

カキのニンニクオリーブオイル炒め

- | | | | |
|---------|--------|---------|--------------|
| カキ | 300グラム | 塩 | 適量 |
| オリーブオイル | 大さじ2杯 | コショウ | 適量 |
| 小麦粉 | 適量 | ニンニク1かけ | 厚さ1ミリ程度にスライス |

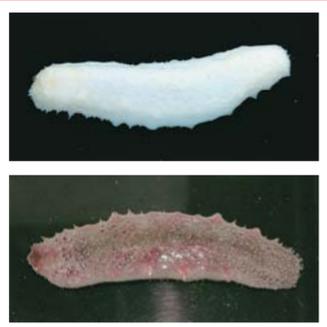
- 作り方
- ① 塩水中で振り洗いをするか、カキをざるに入れ、円を描くように振ってカキの汚れをとります。洗ったカキはキッチンペーパーで水気をふき取り、塩、コショウを振り、小麦粉をまぶしておきます。
 - ② フライパンにスライスしたニンニク、オリーブオイルを入れ、極弱火にかけます。じっくりと加熱してニンニクの香りをオリーブオイルに移します。
 - ③ ニンニクの香りが出てきて、うすうすとキツネ色に色づいてきたらニンニクをとりだし、小皿に取っておきます。
 - ④ 中火に切り替えてカキを並べます。きれいな焼き色がついたらひっくり返して更に加熱します。火がとおったらかきがつぶつぶと膨らんでいきます。
 - ⑤ 皿に盛り付け、小皿に取っておいたニンニクスライスを乗せて完成です。



普及指導課(☎277-6609)

変わった色のナマコを展示中です

白色のナマコ(写真上)と紫色のナマコ(写真下)が山口県で漁獲され、瀬戸内海区水産研究所に持ち込まれました。このうち、紫色のナマコを水産振興センターの窓口横で展示中です。



普及指導課(☎277-6609)

多様な担い手の育成

沼田町吉山で新規就農者を育成

「ひろしま活力農業」経営者育成事業

本財団では、広島市農業の将来を担う若い活力ある農業経営者を育成するひろしま活力農業経営者育成事業を実施し、これまでに1～8期生16名が農業経営を開始しております。（8期生は実地研修中）
また、9期研修生2名（今田典彦さん・中岡亮さん）が、昨年12月から、安佐南区沼田町吉山上垣内地区において、就農のためのビニールハウスの建設実習に取り組んでいます。就農後は、こまつなどの周年栽培により年間約16万束、1千万円を売り上げる農業経営者を目指すとともに、将来は地域農業・農村の担い手として大いに期待されています。

☎指導課構造改善係（☎845-4347）



ハウス建設実習の様子

夢づくり 準備中

～スローライフで夢づくり 定年就農者育成事業～

平成18年4月から始まった2期生の研修も1年間のカリキュラムを終え、平成19年4月からいよいよ市内の農村に就農します。これまで農業振興センターでの野菜の栽培研修を中心に農家での水稲栽培研修、ひろしま朝市での販売研修など農業を営む上で必要な基本的な技術を身につけました。これからは、地域のみなさんと一緒に汗を流してがんばります。本財団も2期生の夢の実現のため全力でフォローしていきます。また、4月からは3期生が夢の実現に向けて研修をスタートします。



安佐北区白木町古屋で野菜と水稲を栽培する松本さん

昨日までビジネス街のサラリーマン、明日から白木で農作業をがんばります



「無理なく気長に楽しく」をモットーに自然にやさしい安全でおいしい農産物作りをテーマにやっていきたい。



安佐北区白木町下三田で水稲と野菜を栽培する加藤さん

1年間の研修を生かして畑に花を咲かせたい



安佐北区狩留家で野菜と花きを栽培する後藤さん

山間部の多い広島の景観を大事にし、効率優先でなく自然にやさしい農業を目指したいです



安佐北区安佐町箕越で野菜、水稲、花き、果樹を栽培する勝田さん。

第二の人生、初心忘れず楽農と貢献をモットーに



安佐北区可部町桐原で水稲と野菜を栽培する山崎さん

☎指導課構造改善係（☎845-4347）

間引き作業



は種作業



販売実習



収穫後の調整作業



農薬散布作業



定年後の就農を目指して研修中 ふるさと帰農支援事業

平成18年7月からスタートしたふるさと帰農研修は、第一期生20名が野菜生産販売技術の習得に取り組んでいます。1年目は、営農の基礎や販売実習などのほか、葉物野菜の栽培などについて実地研修を行いました。2年目は、果菜類の栽培実地研修のほか先進農家での研修を行います。
また、平成19年5月には、第二期生の募集を行います。50才代の広島市内農家出身で、会社などを定年後、地元に戻って野菜の生産販売を目指す方は、奮ってご応募ください。
☎指導課農産係（☎845-4376）

食と農の理解の促進

佐伯区湯来町で食農体験!

市民に食と農の理解を深めてもらうため、佐伯区湯来町の農家の方々の協力のもと、食農体験事業を実施しました。
今年度は、稲、落花生、さつまいも、大豆の栽培と枝豆の料理、餅つき、バター作りなどの調理体験を行いました。参加者は、豊かな自然なかで農作業を行い、収穫後すぐに食べる農産物の味に感動していました。
「食だけでなく、農だけでなく、食農ということでも充実した体験ができたと思います。」等、好評の意見をいただきました。

☎指導課農産係（☎845-4376）



広島伝統野菜（広島おくら）



おいしい枝豆（湯あがり娘）

地産地消の推進

生産者自らが、野菜の店頭試食販売を行いました。消費者に、「ひろしまさだち」産品の特長を伝え、消費拡大を推進しています。

☎指導課農産係（☎845-4376）

集中監視システム (農業集落排水処理施設)

現在、本財団では、11箇所の農業集落排水処理場と131箇所のポンプ場を維持管理しています。が、集中監視システムが当該施設の効率的な維持管理に役立っています。

このシステムは無人運転である当施設の運転状況を把握することができ、また異常時には職員又は維持管理者の携帯電話に連絡が入るなど、迅速な対応を可能にしています。

問 調整課 (☎845-4349)



集中監視システムの画面
(広島市農業振興センター事務所に設置)

広島市 フォレストサポートセンター設置

本財団はこのほど、市民参加の森林づくりの一層の推進を図るため、課題となっている市民の森林づくりの拠点として、広島市フォレストサポートセンターを広島市森林公園内に設置しました。

森林づくりに市民が参加する機会や各種情報提供をするとともに、人材育成、活動支援を総合的に行うための拠点です。お気軽にご活用ください。

問 森づくり推進担当 (TEL899-1005)

”里山整備士”養成中

平成17年度から、団地周辺の放置された森林をはじめ都市近郊の里山について、地域と協働で再生整備を行う際の指導役を担う”里山整備士”を養成しています。

現在、17年度に植生調査等の基礎講座を受けた1期生5名が地域と一緒に1期生2年目の実践講座に取り組んでおり、修了後里山整備士に認定される予定です。

問 森づくり推進担当
(☎899-1005)



さらなる 牛乳消費拡大をめざして

砂谷酪農部会では、10月14日～15日のフードフェスティバルで牛乳消費拡大PRを行いました。天気にも恵まれ、多くの来場者に牛乳のおいしさを味わってもらい、牛乳を使った簡単なおやつ作り方のパンフレットを配布し、飲むばかりでなく食べる牛乳もアピールしました。

また、広島市酪農振興協議会でも、広島県牛乳普及協会協賛のもと、11月23日の安佐南区農業祭で牛乳消費拡大PRを行いました。



問 指導課畜産係 (☎845-4378)

「広島おくら」料理教室で使用

7月31日と8月29日、皆実小学校の6年生を対象とした料理教室で伝統野菜の広島おくらを使った料理が紹介されました。調理前に広島市の農業の現状や広島おくらがどこで、だれが、どのように栽培しているか解説しました。生徒たちは市内で作られている農作物に興味をひかれた様子で熱心に聞き入っていました。 問 園芸課 (☎842-4421)



深川早生芋、一本草枝豆試験販売

伝統野菜の深川早生芋(サトイモ)と一本草枝豆の試験販売を、9月24日、10月1日にひろしま朝市で行ないました。深川早生芋は「柔らかい、ぬめりがありおいしい。」など評価が高く、一本草枝豆のアンケートでは「普通の枝豆が少ないこの時期にも、新鮮な枝豆が欲しい。」という声が多く聞かれました。

問 園芸課 (☎842-4421)



食農体験「コンニャク、そばコース」

花みどり公園では、コンニャク、そばについて、植付け、種まきから収穫、加工まで一貫して体験できる教室を開催しました。コンニャクコースでは、「作りたてのコンニャクは格別においしかった。」そばについては、「最初はうまく打てなかったが、だんだんうまく打てるようになって良かった。」との声が多かったです。 問 花みどり公園 (☎837-1247)



こんちゅう館	希	少	昆	虫
保護	の	取	組	み

平成元年度の開館以来、こんちゅう館ではギフチョウやミヤジマトンボを始めとする希少昆虫に関する情報の収集に努めてきました。そして、その成果を生体展示や企画展などで公開するとともに、広島県や広島市が編纂した希少生物に関わる刊行物：RDB=レッドデータブックに発表してきました。また、地域住民やボランティアの方々と連携を図りながら、上温品産コオイムシや似島産ヘイケボタルなどの貴重な個体群の保護に積極的に取り組んでいます。

ミヤジマトンボ 世界的希少種を救え!

◀オス成熟個体
2006.07.13



▲1齢幼虫: 約1mm



▲11齢幼虫約10mm

ミヤジマトンボはシオカラトンボの仲間、大きさはシオカラトンボをやや小ぶりにした程度のかわいらしいトンボです。1919年に中国南部で発見され、宮島では1936年に生息が確認されました。現在、生息が確認されているのは、宮島と香港のわずか2地域に限られ、この点から“世界的希少種”といえます。

こんちゅう館では、2005年9月に発足した“ミヤジマトンボ保護管理連絡協議会”に委員として参加し、生息環境の改善や保護施策の立案などに関わってきました。また、広島県(環境局自然環境保全室)の依頼のもと、昨年7月から人工飼育を開始し、幼虫の生育に関する基礎情報の収集に努めてきました。そして、この情報をもとに、2007年度には人工増殖を試み、環境が改善された生息地に飼育幼虫を放流したいと考えています。

コオイムシ

貴重な広島市産個体群の保護

メスがオスの背中に卵塊を産み付けることで知られるコオイムシ。かつては広島県内の水田や池などにごく普通に見られましたが、1960年代以降全国的に激減し、“広島市の生物(2000.3)”では“広島市絶滅種”に指定されました。ところが、2004年に東区上温品の休耕田で再発見され、同時に確認された2種類の希少なゲンゴロウ類とともに、“広島市の生物 補遺版(2006.10)”であらたに“絶滅危惧種”に指定されました。しかし直後の11月に、1950年代以前の広島市域の水辺環境を奇跡的に留めていた再発見地が埋め立てられることに!!そこで地域住民を中心としたボランティアを組織して、隣接する放棄水田へのコオイムシとゲンゴロウ2種の移住作戦を決定し、一部はこんちゅう館に保護しました。広島市産の最後の個体群かもしれない上温品のコオイムシたちの存続のために、今後は地域の方々とともに知恵を出し合い、移住地の環境保全に取り組んでいきます。



卵塊を背負ったオス



移住作業の様子
2006.11.11

問 こんちゅう館 (☎899-8964)

イベント情報

広島市森林公園 ☎899-8241

山菜を学ぼう!

開催日:4月15日(日)
山菜を調理し、試食をします。
※要事前申込

春爛漫! 森林公園ツツジウィーク

開催期間:4月28日(土)~5月6日(日)
大道芸やアカペラコンサートなどを開催します。

こんちゅう館 ☎899-8964

春の特別企画展示

「春のハチミツフェスタ2007 -チョウとミツバチ-」

生きたミツバチを見ながら蜂蜜の試食ができます。また、蜂蜜の販売もしています。期日限定でハチミツ採り、チョウの羽化ショーも行います。
開催期間:4月7日(土)~5月6日(日)



ハチミツフェスタ

夏の特別企画展示

「世界のカブト・クワガタ2007 -ヘラクレスオオカブトムシのすべて-」

世界の様々な生きたカブトムシやクワガタムシがやってきます。一部は実物に触れることもできます。実物ならではの迫力をお楽しみください。また今回は、ヘラクレスオオカブトムシについてくわしく展示をします。
開催期間:7月21日(土)~9月2日(日)

昆虫自然観察会

こんちゅう館の周辺で昆虫の野外観察を行い、季節の昆虫についてこんちゅう館職員が解説します。雨天の場合は別メニューにて対応します。受付は事前もしくは当日こんちゅう館にて10組30名まで
開催日:
4月22日、5月13・20、6月10・17日、7月8・15日いずれも日曜日
開始時間は季節によって異なりますので電話でお問い合わせください。

こんちゅう館わくわくミニツアー

こんちゅう館の見どころ、展示昆虫の詳しい解説をし、飼育室等一般入館者の入れない場所へご案内します(当日申し込み10組30名まで)。
対象:こんちゅう館入館者
開催日時:4月7・28日、5月5・26日、6月2・23日、7月7・28日いずれも土曜日、午後1:30から40分程度。

花みどり公園 ☎837-1247

春のシャクナゲふれあい祭り

シャクナゲの花が咲き誇ります。期間中バザールの国で植木、花の大売出しを行います。その他、シャクナゲの国では園内案内などを行います。
開催期間:
4月21日(土)~5月6日(日)

はなづくり講座

花づくりの基礎を学んだり、季節ごとのコケ玉づくりの体験が出来ます。
開催日:
4月21日(土) 春からの花づくりの基礎
4月29日(祝)・5月3日(祝)・5日(祝)・6日(日) 春のコケ玉づくり
6月17日(日) 初夏のコケ玉づくり

みどりづくり講座

樹木、花木、果樹の栽培、管理の方法などを解説します。

開催日:
4月22日(日) 良い植木の選び方と管理
4月28日(土) しゃくなげの栽培
6月24日(日) 庭木の管理Ⅰ初夏編
7月8日(日) 初夏の果樹管理

食農体験教室

食と農の体験を行なう教室です。一日教室の他に、年5回、栽培から収穫・加工までを一貫して行なう年間教室があります。

一日教室
開催日:
3月4日(日) 山菜と手打ちうどん
5月19日(土) 豆腐と手打ちうどんづくり
7月22日(日) 夏の山菜を味わう
7月29日(日) 手打ちそばづくり

年間教室(募集は初回のみ)
とうふ教室
開催日:
6月23日(土)、7月7日(土)、7月28日(土)、11月24日(土)、12月8日(土)
コンニャク教室
開催日:
5月9日(水)、6月13日(水)、10月24日(水)、11月28日(水)、2月6日(水)

親子食農体験教室

親子で食と農の体験や、簡単な遊具づくりを行ないます。募集は初回のみ。
開催日:
5月20日(日)、7月21日(土)、8月19日(日)、10月21日(日)、11月23日(祝)



親子食農体験教室(裏あそび行動隊)

広島市水産振興センター ☎277-6609

海辺の教室



塩蔵ワカメづくり風景

対象:小学校3~6年生とその保護者
開催時間:13~15時
先着30名。無料。

申し込み・問合せ:
お電話(☎277-6609)又はホームページ(<http://www.suisanc.or.jp/kyoshitu.html>)から。
3月18日(日)「ワカメ養殖」
塩蔵ワカメづくり
※4月以降も第3日曜日(11月を除く)に海辺の教室を行ないます。

ひろしま農林水産振興スタンプラリー

スタンプラリーに参加された方の中から、抽選で3名様に素敵な景品をプレゼントします。皆様のご参加をお待ちしています。※一人一枚の参加とします。

期間 平成19年4月1日~平成19年5月31日

対象施設

花みどり公園	こんちゅう館	魚と漁業の資料展示室
入園料:無料 休園日:毎週火曜日(火曜日が祝日の場合は翌日)、年末年始 開園時間:9:00~16:30	入館料:大人500円、小人170円 休館日:毎週水曜日(水曜日が祝日の場合は翌日)、年末年始 開館時間:9:00~16:30	入館料:無料 休館日:土曜日、日曜日(第3日曜日を除く)、祝日、8/6、年末年始 開館時間:8:30~17:00

※森林公園の入園料は無料です。(駐車料金:普通車440円)

- 方法
1. 対象施設で、スタンプラリー応募用紙を入手してください。
 2. 各対象施設でスタンプを押してください。
 3. スタンプが3つそろったら、必要事項を記入し、いずれかの対象施設で応募箱に入れてください。

当選者は6月中旬にホームページ上で発表します。
ホームページアドレス<http://www.hiroins-net.ne.jp/hiroagri/> 調整課 082-845-4770

●施設の位置

花みどり公園 〒731-3362 広島市安佐北区安佐町大字久地2411番地1
☎(082) 837-1247 図(082) 837-2938
<http://www.hiroins-net.ne.jp/hanamidori/>

【バス利用】
広島バス:アストラムライン本通り駅から長楽寺または広城公園行き 上安駅下車。バス乗り換えあさひが丘行き、あさひが丘中停留所下車。タクシーで5分。
【自家用車利用】
毛木、動物園線の三国分かれから西へ3分。主要地方道38広島豊平線、水口橋から東へ5分。主要地方道38広島豊平線、名原橋、名原農道経由5分

広島市水産振興センター (魚と漁業の資料展示室)
〒733-0833 広島市西区商工センター8丁目5番1号 ☎(082) 277-6609 図(082) 278-0632
<http://www.suisanc.or.jp/>

【バス利用】
広島バス:広島駅発商工センター行き 井口車庫下車、徒歩約5分
【電車利用】
広島宮島線:鈴が峰女子大前下車、徒歩15分

ホームページアドレス <http://www.hiroins-net.ne.jp/hiroagri/>
E-mail アドレス hiroagri@hiroins-net.ne.jp

広島市農業振興センター(事務局)
〒739-1751 広島市安佐北区深川八丁目30番12号 ☎(082) 845-4770 図(082) 842-2149

【電車利用】
JR芸備線:広島駅から中深川駅下車、徒歩20分
【バス利用】
JRバス、広島交通:広島バスセンターから深川台行き 深川台停留所下車、徒歩5分
【自家用車利用】
主要地方道37広島三次線、中深川郵便局の東150mを南へ2分

**広島市森林公園・広島市フォレストサポートセンター
こんちゅう館**
〒732-0036 広島市東区福田町藤ヶ丸173番地
☎(082) 899-8241 図(082) 899-8491
<http://www.hiroins-net.ne.jp/h-sinrin/>

【バス利用】
広島バス:小河原車庫方面行き 登石停留所下車、徒歩約60分
【自家用車利用】
山陽自動車道
広島東I.C.から約10分
広島駅から約30分